

平成 21 年度
大阪大学大学院
高度副プログラム

大阪大学
OSAKA UNIVERSITY

目 次

1. 高度副プログラムとは	1
2. 履修対象者	1
3. 費用	1
4. 履修条件	1
5. プログラムの申請手続について	1
6. プログラムのカリキュラムについて	3
7. プログラム提供科目のシラバスについて	3
8. プログラム科目の履修手続について	3
9. プログラムの修了要件について	3
10. プログラムの修了について	5
11. 標準履修期間について	5
12. プログラム提案部局・連携部局について	5
13. 休講等の通知について	5
14. 大阪大学ホームページでの情報掲載について	5
15. プログラム紹介	6

平成21年度高度副プログラム一覧

整理番号	プログラム名称	プログラム提案部局	受講対象者	ページ
1	ERASMUS MUNDUS 英語授業・現代日本論	文学研究科	M・D	6
2	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	医学系研究科（医科学専攻）	M	7
3	高度がん医療人材育成プログラム	医学系研究科（保健学専攻）	M・D	8
4	まちづくりデザイン学	工学研究科	M・D	9
5	環境リスク管理学	工学研究科	M	10
6	応用自然言語処理理論と技術	言語文化研究科	M・D	11
7	グローバルリーダーシップ・プログラム	国際公共政策研究科	M・D	12
8	IT Spiral	情報科学研究科	M1	13
9	高度情報ネットワーク実践スペシャリスト	情報科学研究科	M	14
10	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践	留学生センター	M・D	15
11	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム: 専門科	臨床医工学融合研究教育センター	M・D	16
12	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム: 高度職業人育成科	臨床医工学融合研究教育センター	M・D	17
13	コミュニケーションデザイン	コミュニケーションデザイン・センター	M・D	18
14	金融・保険	金融・保険教育研究センター	M・D	19
15	グローバル共生	グローバルコラボレーションセンター	M・D	20
16	人間の安全保障・社会開発	グローバルコラボレーションセンター	M・D	21
17	司法通訳翻訳論	グローバルコラボレーションセンター	M・D	22
18	サステイナビリティ学	サステイナビリティ・サイエンス研究機構 サステイナビリティ・デザイン・センター	M	23
19	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士前期課程高度学際教育)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	M	24
20	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程社会人特別選抜)	ナノサイエンスデザイン教育研究センター	D	25

※受講対象者

M・・・博士前期課程・修士課程・生命機能研究科は博士課程1・2年生

D・・・博士後期課程・博士課程・生命機能研究科は博士課程3年生以上

平成21年度大阪大学大学院高度副プログラムについて

1. 高度副プログラムとは

近年の学問分野の学際化・融合化により、幅広い分野の知識と柔軟な思考能力を持つ人材など社会において求められる人材の多様な要請に対応する取組として、教育目標にそって一定のまとまりのある授業科目により構成され、体系的に履修することのできるプログラムです。

プログラム毎に定める要件を満たすことで、所属する大学院の課程を修了（博士課程・博士後期課程の場合、単位修得退学を含む）する際にプログラムの修了認定証が交付されます。

平成21年度は20のプログラムが開設されます。

2. 履修対象者

大学院学生（科目等履修生・特別聴講学生を除く）

3. 費用

プログラムを履修することに対しては特別な費用はかかりません。ただし、プログラムの科目によっては、授業を受ける際に交通費などの実費がかかることがあります。

4. 履修条件

大阪大学大学院の課程に在学していることが必要です。その他、プログラム毎に履修条件や履修者数の制限を設ける場合もありますので、個々のプログラムの説明を参照してください。履修制限のないプログラムについては、所属研究科を問わず履修することができます。

なお、所属する研究科の提供するプログラムを履修することや複数のプログラムを同時に履修することも可能です。

プログラムの履修は学年を問いませんので、履修を希望する年度毎に登録することが可能です。ただし、博士前期・修士課程と博士後期・博士課程とでは、履修できるプログラムに違いがあります。詳しくはプログラム一覧表で確認してください。

5. プログラムの申請手続について

プログラムの申請については、平成21年4月24日（金）までにKOANにより行ってください。ただし、プログラムによっては、KOANでの登録とは別に申請手続が必要となることもあります。詳しくは次ページ及びKOANで確認してください。

※下記の高度副プログラムについては、KOANでの申請登録以外に手続きや、履修にあたっての注意がありますので、注意して手続き等を行ってください。

整理番号	プログラム名称	出願・履修の注意
2	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養	履修希望の場合は、KOAN登録に先立ち、本プログラム実施責任者（磯 博康、内線：3911、e-mail: jimub@pbhel.med.osaka-u.ac.jp）との面接が必要となります。 氏名（ふりがな）、学籍コード、電話番号、メールアドレス、履修希望科目名と科目コードを上記アドレスまで送信してください。その際、件名を「高度副プログラム履修登録」としてください。なお、連絡が無い場合は履修できません。
8	IT Spiral	出願、履修の詳細については、IT Spiral のパンフレットを参照してください。（パンフレットはIT Spiral 事務局にあります。）
9	高度情報ネットワーク実践 [※] シヤリスト	別途、KOAN の掲示板機能で通知します。
11	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム: 専門科	KOANに加えて、本センターホームページ上でも、履修登録を行う必要があります。氏名、電話番号、メールアドレス、履修希望の本プログラム授業科目名を本センターに登録し、本プログラムの履修者とします。氏名、電話番号、メールアドレス等は授業等で連絡が必要な場合に利用します。
12	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム: 高度職業人育成科	
13	コミュニケーションデザイン	プログラム科目の履修登録については、コミュニケーションデザイン・センターの「履修ガイドブック・シラバス」またはホームページをごらんください。
14	金融・保険	1・2学期とも、エントリー・出願、履修登録は所定の期間内にKOANによって受け付けます。その際、CSFI作成の冊子（パンフレット、教育プログラム便覧）および下記ホームページに重要な情報が掲載されていますので、御参考なさってください。
19	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士前期課程高度学際教育)	所属研究科の専攻カリキュラム（主専攻）の履修計画、本プログラム履修科目が開設される施設への移動時間を考慮の上、無理のないナノ学際教育研究訓練プログラムの履修計画を立ててください。出願にはKOANのWeb履修登録及び所定の申請書用紙を使用してください。
20	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム(博士後期課程社会人特別選抜)	希望者は本プログラムの趣旨とテーマ内容の概要を参考にして、課題内容、サテライト教室の地域、履修条件などの詳細をホームページ上で必ず確認の上、出願してください。東京、京阪奈、大阪以外の地域を希望する人は事前にナノプログラム事務局に相談してください。出願用紙はナノプログラム事務局に請求してください。

6. プログラムのカリキュラムについて

プログラム毎に提供する授業科目や修了要件単位数が決まっています。プログラムの提供する科目は、プログラム提案部局や連携部局等で開講する授業科目から構成されています。本冊子には、プログラムのカリキュラムについては記載していませんので、興味のあるプログラムについてはホームページ等を参照してください。

7. プログラム提供科目のシラバスについて

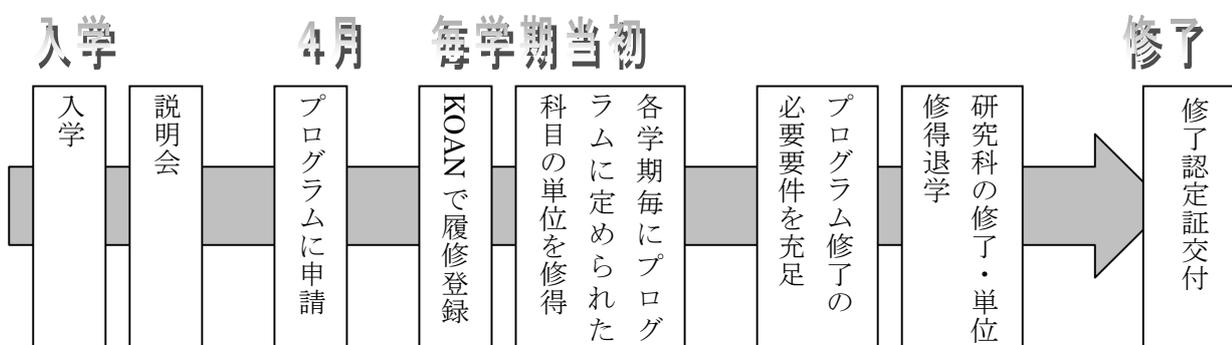
プログラムの提供する科目のシラバスは、各プログラムが発行する冊子等を参照するか KOAN のシラバスを検索してください。

8. プログラム科目の履修手続について

プログラム科目の履修は、各学期毎に KOAN を使用して当該学期に履修する授業科目の履修登録を行ってください。

その他、プログラムによっては KOAN の履修登録以外に年度当初又は学期毎に履修するプログラム科目の申請が必要な場合もあります。各プログラムの指示に従ってください。

履修の流れ



9. プログラムの修了要件について

プログラム毎に修了要件に違いがあります。本冊子には、プログラムの修了に必要な最低単位数を記載していますがプログラムによっては必修科目を設けたりコースを選択するなど条件に違いがあります。詳細については、各プログラムの紹介冊子等で確認してください。

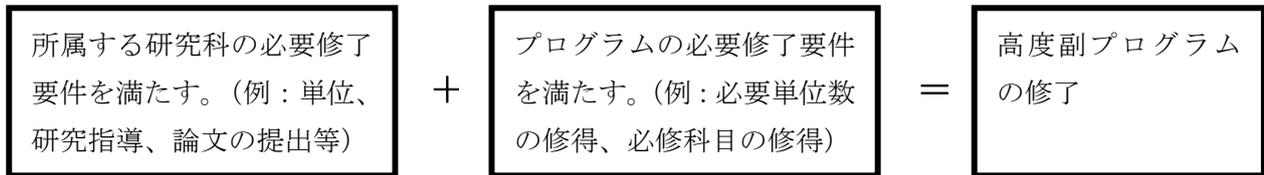
また、プログラムの修了に必要な単位と所属している研究科の専攻の修了に必要な単位との重複は認められます。ただし、所属する専攻の修了に必要な最低修得単位数以外に最低4単位は、当該プログラムの単位として修得する必要があります。専攻の修了に必要な単位として認められるかどうかは、所属する研究科の教務担当係に確認してください。

その他、プログラムの修了に必要な単位とその他の高度副プログラムの修了に必要な単位との重複も認められます。

【注意】

プログラムで定める授業科目をプログラムの申請以前に履修している場合は、既に修得している単位をプログラムの修了要件単位として認定される可能性があります。詳細については各プログラムに問い合わせてください。

(プログラム修了要件について)

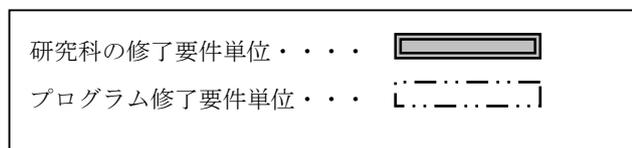


《プログラムの修了に必要な単位について》

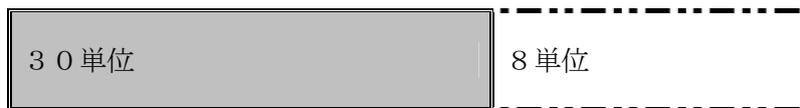
〈履修例〉

研究科の修了要件単位数：30単位

プログラム修了要件単位数：8単位



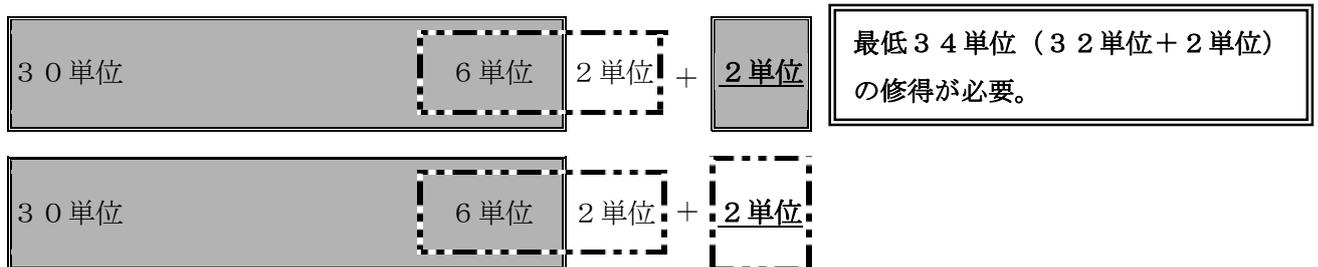
①研究科の修了要件科目とプログラムの修了要件科目が重複しない場合



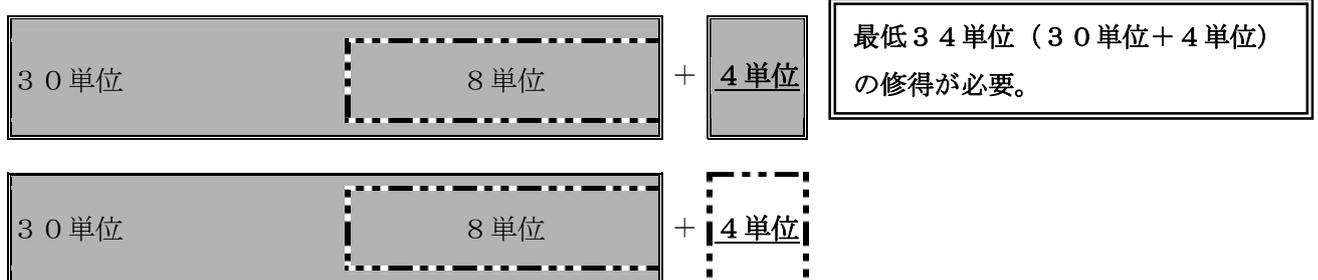
②プログラムの修了要件単位の内4単位が研究科の修了要件単位に認められる場合



③プログラムの修了要件単位の内6単位が研究科の修了要件単位に認められる場合



④プログラムの修了要件単位8単位が全て研究科の修了要件単位に認められる場合



10. プログラムの修了について

プログラムの修了に必要な条件を全て満たすと、大学院の課程を修了するとき（博士後期・博士課程の学生は単位修得退学を含む）にプログラムの修了認定証を授与します。

修了認定証の交付は、所属する研究科の教務担当係より行われます。

11. 標準履修期間について

それぞれのプログラム毎に設定している各プログラムの履修に無理のない期間のことをいいます。その期間内はプログラムの提供する授業科目の開講は保証されますが、それ以降はカリキュラムの変更等の理由で開講されない場合がありますのでご注意ください。

12. プログラム提案部局・連携部局について

プログラム提案部局とは、高度副プログラムを企画し開講するそのプログラムに対して責任を持つ大阪大学の研究科などの組織（(注)を参照）をいいます。プログラムについて質問や連絡することがありましたら、そのプログラムの提案部局にある担当事務室にご連絡ください。

また、連携部局とは1つのプログラムを複数の大阪大学の研究科などの組織が連携して開講する場合の提案部局以外の部局をいいます。それぞれのプログラムの連携部局がどういった役割を担うかは各プログラムによって違いがあります。

(注) ここでの部局とは、大阪大学の下記の組織を指します。

- ・研究科
- ・附置研究所
- ・学内共同研究教育施設
- ・全国共同利用施設
- ・ナノサイエンスデザイン教育研究センター
- ・サステイナビリティ・サイエンス研究機構

13. 休講等の通知について

授業の休講やプログラムに関する通知等の連絡は、原則KOANにより行うことになっています。プログラムによってメールアドレスやホームページを使用する場合がありますので、各プログラムの指示に従ってください。

14. 大阪大学ホームページでの情報掲載について

大阪大学ホームページから「教育・研究活動」→「副専攻的な教育」の中に高度副プログラムについてのページを設けてあります。各プログラムのホームページへもリンクしています。

アドレス（ <http://www.osaka-u.ac.jp/jp/research/fukusenkou.html> ）

15. プログラム紹介

プログラム名称	ERASMUS MUNDUS英語授業・現代日本論		
プログラム実施組織	文学研究科		
連携部局	—		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	2～3年	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>エラスムス・ムンドゥス・マスター・プログラム(「ユーロカルチャー」)在籍の留学生を対象とする当プログラムに、本学在籍の留学生や留学を志す日本人学生が参加することにより、国際的な大学教育をめざす。授業はすべて英語で行われ、教員と学生の間、学生相互間でディスカッションを行うことにより、双方向的な授業を実施する。ヨーロッパ、アメリカ、アジアなどの諸外国との関係、交流、影響を視野に入れながら、特に「現代」を主題化しつつ、日本の文化、社会、歴史、芸術、文学、言語について学習する。毎年 10 月～12 月にかけて5コマの授業を 10 回開講。授業時間以外に英語による文献を読むことが求められるとともに、交流会、見学会などを実施し、異なる文化のもとで生まれ育った学生同士のコミュニケーションおよび相互理解をめざす。日本人学生にとっては、英語を通じて、国際的見地から自らの文化、社会、歴史を相対化するとともに、英語による発言能力を養い、日本文化・歴史を理解可能なものとして発信することを学ぶことになる。</p>		
受講資格・条件	エラスムス・ムンドゥス・プログラム在籍の学生はTOEFL580点以上の成績の所持者であるため、それと見合う英語能力を有していること。		
修了要件	3年以内に8単位を修得すること		
ホームページ・問い合わせ先等	ホームページ: http://www.let.osaka-u.ac.jp 問合せ先: 文学研究科教務係 e-mail: bunsouhakukyoumu@ns.jim.osaka-u.ac.jp		
説明会の日程	—		
特記事項	なし		

プログラム名称	医科学修士の健康医療問題解決能力の涵養		
プログラム実施組織	医学系研究科(医科学専攻)		
連携部局	—		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>医療系の人材の育成には、人間社会の枠組みを律する人文社会科学系の知識・技能の教育が必要です。わが国では少子高齢社会を迎え、健康や医療問題が複雑化している現在、医科学の専門知識、技能の習得のみならず、健康医療の諸問題に対処し解決する能力が求められています。</p> <p>そこで、本教育プログラムは、大阪大学の新しい教育・研究体系としての主要プロジェクトの一つである文理融合の一環として、狭義の医学領域のみではなく、人文社会科学領域の基礎的知識を有し、倫理性、社会性、専門性、応用力、リーダーシップを兼ね備えた均衡のとれた研究者並びに専門職業人の育成に当たることを目的としています。</p> <p>具体的には、社会医学分野の講義として、以下の科目を選択科目として開講します。</p> <p>1) 健康政策学総論 (2単位) 2) 健康政策学各論 (2単位) 3) 疫学総論 (2単位) 4) 疫学各論 (2単位) 5) 医事法 (2単位) 6) 知的財産権法 (2単位) 7) 医療経済・経営入門 (1単位) 8) 経済学・経営学の基礎理論 (1単位) 9) 国際感染症学 (2単位) 10) 環境健康リスク論(2単位)</p>		
受講資格・条件	なし		
修了要件	本プログラムの修了要件は、上記の講義科目から8単位以上を修得することとします。		
ホームページ・問い合わせ先等	http://www.msc.med.osaka-u.ac.jp/index.html 大阪大学大学院医学系研究科公衆衛生学教室 Tel:06-6879-3911 Fax:06-6879-3919		
説明会の日程	—		
特記事項	講義の場所・日時等は、KOANあるいはプログラムHP上で確認してください。		

プログラム名称	高度がん医療人材育成プログラム		
プログラム実施組織	医学系研究科(保健学専攻)		
連携部局	薬学研究科、核物理研究センター		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	2年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>チーム医療を推進できる、がん専門医療者を養成し地域のがん医療の向上を図ることを目的に文部科学省に採択された「チーム医療を推進するがん専門医療者の育成—集学的治療から在宅医療そして緩和ケアまで—」に係る各コース(がん医療専門医、がん医療コメディカル、がん専門インテンシブ)の受講者を対象に高度医療従事者等として、倫理性、社会性、専門性、応用力、リーダーシップを備えた幅広い均衡のとれた人材(研究者、専門職業人等)の育成を行うことを目的とします。</p> <p>また、医学部附属病院オンコロジーセンター主催で専門医師、医療スタッフによる症例検討を行い最適の診療方針を議論する場としてキャンサーボードを実施しており演習科目の一部として取り扱うこととします。</p> <p>本プログラムは各コースの受講者でかつ所定の単位数を修得することにより、異分野の専門性を垣間見ることができ有益と考えています。</p>		
受講資格・条件	<p>①～③の条件等有</p> <p>①演習科目について受講人数の制限を行う場合があります。</p> <p>②開講場所が学外で行われる場合があります。</p> <p>③受講者数により開講時期を変更する場合があります。</p> <p>いずれも、受講する前に授業担当教員と確認を行ってください。</p>		
修了要件	本プログラムの科目から8単位以上を修得することとします。		
ホームページ・問い合わせ先等	http://osaka.ganpro.jp/index.html		
説明会の日程	未定		
特記事項	開講学期、開講場所等については医学系研究科保健学専攻事務室教務係あて確認を行ってください。		

プログラム名称	まちづくりデザイン学		
プログラム実施組織	工学研究科		
連携部局	コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	2年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>【プログラム概要】 本教育プログラムにおいては、まちづくりにおいて必要とされる、「かたち」「しくみ」「こころ」の形成のあり方に関するデザイン力を、生活の質の向上、産業の活性化、社会サービスの効果的な提供などの視点を組み込み、養うことを目指します。そのため、主に居住まちづくり、交通まちづくり、環境まちづくり系の諸科目を基礎として学び、具体の地域・まちづくりデザインにおいて、これらの要素を総合化するという授業体系を備えています。</p> <p>【教育目標】 ①現実のまちが抱えている問題発見と課題抽出能力の養成 ②まちづくりデザインを構成する各分野における基礎的知識の習得 ③課題解決のための各分野における実践技術の習得 ④各分野における個別デザイン能力の養成 ⑤具体の地域における総合的デザイン能力の養成</p>		
受講資格・条件	なし		
修了要件	<p>本プログラムの科目から8単位以上。ただし、「リノベーションまちづくりデザイン」は必修。</p> <p>【工学研究科開講科目】(各科目2単位) 交通・地域計画論、交通システム分析論、環境行動論、地域施設整備論、建築設計マネジメント論、都市デザイン論、共生都市環境論、共生環境デザイン論</p> <p>【CSCD開講科目】(各科目2単位) リノベーションまちづくりデザイン、交通まちコミュニケーション概論</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	工学研究科地球総合工学専攻 教授 新田保次(にった やすつぐ) nitta@civil.eng.osaka-u.ac.jp 同専攻 助教 猪井博登(いのい ひろと) inoi@civil.eng.osaka-u.ac.jp 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘 2-1 TEL:06-6879-7608、7609 FAX:06-6879-7612 URL: http://www.civil.eng.osaka-u.ac.jp/plan/machidukuri/sub-major.htm		
説明会の日程	平成 21 年 4 月 8 日 14:40～(吹田)コンベンションセンター2F会議室 2		
特記事項	なし		

プログラム名称	環境リスク管理学		
プログラム実施組織	工学研究科		
連携部局	-		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>高度副プログラム「環境リスク管理学」は、学術横断的な分野の講義を通じて、環境リスク管理に関する知識と実践力を獲得させ、環境リスク管理分野における研究者および実務家を養成する教育プログラムです。</p> <p>温暖化による気候変動への対応、ナノ・化学物質の戦略的管理など、現代社会の急速な高度技術化による社会の変化に伴って生じる環境リスク事象に対して、我々がいかに対応すべきかが今問われています。これらの環境リスクへの対応には総合的かつ分野横断的なアプローチが求められるため、細分化された個別の知識ではなく、俯瞰的視野を持ってリスク感性を研ぎすませることが重要です。本プログラムでは、環境リスク管理の知識と技能、高いリスク感性を持ち、企業と組織および社会において必要とされている実践的人材を養成することを目的としています。</p> <p>また、本プログラムの講師陣は、「環境リスク管理のための人材養成プログラム」でも活躍している実績の多い第一線のリスク研究者で構成されており、環境リスクに関する実践の現場を体験することができます。</p>		
受講資格・条件	課題対処の方法を専門領域にとらわれず探求し、責任をもって解決に導いていくことのできる柔軟性と意欲を持った人を歓迎します。		
修了要件	履修 8 単位のうち 4 単位以上は修士課程修了要件以外の単位として履修する必要があります。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>大阪大学大学院工学研究科 環境・エネルギー工学専攻 盛岡研究室 ○「環境リスク管理のための人材養成」プログラム 担当：松井 孝典(まつい たかのり)、織田 朝美(おりた あさみ) 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 大阪大学工学部環境工学棟(S4) TEL: 06-6879-7407 FAX: 06-6879-7407 E-mail: risk-office@orcsd.eng.osaka-u.ac.jp http://risk.see.eng.osaka-u.ac.jp/index.html</p>		
説明会の日程	<p>平成 21 年 4 月 7 日(火) 10:00～(豊中)基礎工学部国際棟 Σ (シグマ)ホール 平成 21 年 4 月 8 日(水) 14:40～(吹田)コンベンションセンター2F会議室</p>		
特記事項	<p>各講義の開講場所、講義日程等については KOAN またはウェブサイト (http://risk.see.eng.osaka-u.ac.jp) にて確認してください。</p> <p>高度副プログラム「環境リスク管理学」の科目は、大阪大学「環境リスクマネージャ養成プログラム」の講義の一部から構成されています。環境リスクマネージャ養成プログラムは日本リスク研究学会にプログラム認定されており、意欲のある方はさらに単位取得といった修了要件を満たすことで日本リスク研究学会に「リスクマネージャ(環境)」として登録する事が可能です。詳しくはウェブサイト (http://risk.see.eng.osaka-u.ac.jp) をご参照頂くか、事務局 (risk-office@orcsd.eng.osaka-u.ac.jp) までお問い合わせ下さい。</p>		

プログラム名称	応用自然言語処理理論と技術																										
プログラム実施組織	言語文化研究科(言語文化専攻)																										
連携部局	—																										
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士 及び 博士																								
標準履修期間	1 年	対象者制限の有無	無																								
プログラム概要及び教育目標	<p>情報メディアとしてのパーソナルコンピュータ、インターネットの普及により、文書・資料の電子化が急速に進み、電子テキストの量は爆発的に増大しています。これにともない、膨大な自然言語データの中から有益な情報を効率的に抽出するための情報マイニング技術の開発が学界のみならず産業界においても求められています。大規模な自然言語データを分析・活用するためには、従来の言語学、文献学の理論・方法論に加え、情報工学、統計数理学、行動科学など関連領域の知見を統合した学際的なアプローチが必要となります。</p> <p>そこで、本プログラムでは、自然言語処理とコーパス言語学研究を二本の柱として、それぞれの基礎理論と応用実践の方法論を有機的に組み合わせて教授します。自然言語処理では、情報工学の基礎理論から、形式言語理論や形式論理に基づいた統語処理・意味処理・談話処理について学びます。さらに、自然言語処理モデルを計算機に実装するためのプログラミングや、言語処理ツールを駆使する技法を習得します。コーパス言語学研究では、コーパスデザインに関する理論や、TEI (Text Encoding Initiative: 言語データ電子化のため国際共通規格)、言語データ解析のための統計数理モデルに関する講義を行うとともに、実践的なコーパス分析の演習を行います。当プログラムが提供するコースワークを通して、受講生は、膨大な自然言語データの中から自分や社会のニーズに合致した情報の鉱脈を掘り当て活用する高度な情報マイニング能力を修得できるでしょう。</p>																										
受講資格・条件	なし																										
修了要件	本プログラムの科目から自然言語処理A・Bから2単位以上及びコーパス言語学研究A・Bから2単位以上を含んで、8単位以上を修得することとします。																										
ホームページ・問い合わせ先等	言語文化研究科大学院係(豊中キャンパス) TEL 06(6850)5856 メールアドレス in@lang.osaka-u.ac.jp																										
特記事項	<p>本プログラムの申請様式は(http://www.lang.osaka-u.ac.jp/)からダウンロード可能です。</p> <p>本プログラムの修了には、あらかじめ言語文化研究科大学院係にて出願・履修の申請を行う必要があります。プログラムに該当する授業の内容は、KOANのシラバスと各授業の第1回目にガイダンスがありますので、それを参考にしてください。</p> <p>なお、該当授業と講師、その第一回目の授業日・場所()の予定は以下のとおりです。</p> <table border="0"> <tr> <td>自然言語処理A</td> <td>林 良彦</td> <td>月曜5限</td> <td>4/13 (第4演習室)</td> </tr> <tr> <td>自然言語処理B</td> <td>林 良彦</td> <td>月曜5限</td> <td>10/ 5 (第4演習室)</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究A</td> <td>岩根 久</td> <td>火曜4限</td> <td>4/14 (映像情報処理システム室)</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究B</td> <td>岩根 久</td> <td>火曜4限</td> <td>10/ 6 (映像情報処理システム室)</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究A</td> <td>田畑智司</td> <td>水曜5限</td> <td>4/ 8 (言語情報科学講座LLシステム室)</td> </tr> <tr> <td>コーパス言語学研究B</td> <td>田畑智司</td> <td>水曜5限</td> <td>10/7 (言語情報科学講座LLシステム室)</td> </tr> </table>			自然言語処理A	林 良彦	月曜5限	4/13 (第4演習室)	自然言語処理B	林 良彦	月曜5限	10/ 5 (第4演習室)	コーパス言語学研究A	岩根 久	火曜4限	4/14 (映像情報処理システム室)	コーパス言語学研究B	岩根 久	火曜4限	10/ 6 (映像情報処理システム室)	コーパス言語学研究A	田畑智司	水曜5限	4/ 8 (言語情報科学講座LLシステム室)	コーパス言語学研究B	田畑智司	水曜5限	10/7 (言語情報科学講座LLシステム室)
自然言語処理A	林 良彦	月曜5限	4/13 (第4演習室)																								
自然言語処理B	林 良彦	月曜5限	10/ 5 (第4演習室)																								
コーパス言語学研究A	岩根 久	火曜4限	4/14 (映像情報処理システム室)																								
コーパス言語学研究B	岩根 久	火曜4限	10/ 6 (映像情報処理システム室)																								
コーパス言語学研究A	田畑智司	水曜5限	4/ 8 (言語情報科学講座LLシステム室)																								
コーパス言語学研究B	田畑智司	水曜5限	10/7 (言語情報科学講座LLシステム室)																								

[注] 第4演習室は(508 室)は言語文化研究科棟(新棟)5階、映像情報処理システム室は6階(607 室)、言語情報科学講座 LL システム室(307 室)は言語文化研究棟(旧棟)3階です。

プログラム名称	グローバルリーダーシップ・プログラム		
プログラム実施組織	国際公共政策研究科		
連携部局	-		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>グローバルリーダーシップ・プログラムでは、連携分野を通じた社会学連携を最大限に活用しつつ、国際機関、行政機関、外交、政治、企業、NGOで実際にリーダーとして活躍してきた人材を講師に迎え、対話的授業(ソクラティックメソッド)、ケーススタディやインターンシップ、合宿および他大学との合同模擬事例演習などの伝統的教育方法と、音楽や伝統芸、演劇を利用した新しい刺激的な学習方法を併用し、リーダーシップや交渉に関する理論と実践を身につけることを目的とします。よき交渉やリーダーシップのためには継続的練習(習慣づけ)が必要であるので、将来的には卒業生や一般市民に対しての継続的な教育プログラムも提供する予定です。</p> <p>このプログラムは、法学、政治学、経済学など公共政策に関わる学問を主たる専門分野とするかまたは公共政策に関心のある学生が、環境、開発、人権や国際紛争など、国境を越える公共価値を実現し、公共に関わる困難な問題を解決することができるように、人びとに気づきと学習をうながすような「アートArt」としてのコミュニケーションとリーダーシップを教育することを目標とします。</p>		
受講資格・条件	<p>科目によっては、事前課題の提出、受講者人数の上限が定められる場合があり、正当な理由なく遅刻欠席をしないことが単位取得要件とされる場合があります。それぞれの科目ごとの受講要件は、シラバスを参照してください。</p>		
修了要件	<p>本プログラムの科目から「リーダーシップを考える」及び「実践グローバルリーダーシップ」を含んで、8単位以上修得することとします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>国際公共政策研究科(OSIPP)野村研究室 【E-mail】nomurakn@osipp.osaka-u.ac.jp(野村研) 【TEL】06-6850-5625(直通)【FAX】06-6850-5656(研究支援室)</p>		
説明会の日程	<p>決定次第 KOAN の掲示板に通知します。</p>		
特記事項	<p>2学期開講の「実践グローバルリーダーシップ」の履修のためには、1学期開講の「リーダーシップを考える」の受講をすすめます。1学期開講集中講義「リーダーシップデザイン」の受講者にも、「リーダーシップを考える」の受講をすすめます。その他については各講義のシラバスを参照してください。</p>		

プログラム名称	IT Spiral		
プログラム実施組織	情報科学研究科		
連携部局	—		
修了要件単位数	14単位以上	受講対象者	修士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>ITSpiralは、世界最高水準のソフトウェア技術者育成システムの構築を目的とする「文部科学省：先導的ITスペシャリスト育成推進プログラム」の一環として、平成18年10月から3年半の計画でスタートしたプロジェクトです。</p> <p>ITSpiralでは、情報通信技術、特にソフトウェアの高度な技術者育成を目指しています。この実現のために、ソフトウェア分野で修得すべき内容をより豊富かつ体系的・実践的に教育課程に取り組むべく、関西圏の9大学情報系研究科に分散している卓越した専門家群の力を集結し、融合連携型の専攻を構築しています。また、実践的教育を重視しており、高度な技術力を持つ企業と協働することにより、現実の開発プロジェクトを教材とした教育を実現しています。</p> <p>ITSpiralを通じて高い能力を有するソフトウェア技術者を育成していくことにより、幅広いソフトウェア設計の知識を持ち、実践的な開発演習を経験した修士課程学生を継続的に輩出することができますし、また、日本のソフトウェア産業の競争力向上にも貢献しています。</p> <p>授業は、基礎科目（2科目4単位以上を取得）、先端科目（2科目4単位以上を取得）、実践科目（全科目＝3科目6単位）から構成されます。</p>		
受講資格・条件	<p>博士前期課程1年生（他学年の希望者はIT Spiral事務局まで問い合わせてください）</p> <p>※応募者が多数の場合は、情報科学研究科 ITSpiral 事務局で選考し、受講者を決定します。</p> <p>先端科目、実践科目については、ITSpiral プログラムに選ばれた学生のみ受講が認められます。なお、先端科目、実践科目はそれぞれ単独で受講することはできませんので、注意してください。</p>		
修了要件	<p>基礎ソフトウェア工学科目 2科目4単位以上</p> <p>先端ソフトウェア工学科目 全科目（2科目4単位）</p> <p>実践ソフトウェア開発科目 全科目（3科目6単位） から、14単位以上修得すること。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>IT Spiral 事務局</p> <p>電話 :06-6850-6342 Fax :06-6850-6574</p> <p>e-mail: info-it-spiralist.osaka-u.ac.jp</p> <p>http://it-spiral.ist.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>平成21年4月3日（金） 大学院情報科学研究科入学ガイダンス</p> <p>但し、他研究科の学生は、IT Spiral 事務局に問い合わせてください。</p>		
特記事項	<p>基礎科目、先端科目、実践科目、その他詳細については、IT Spiral のパンフレットを参照してください。（パンフレットは IT Spiral 事務局にあります。）</p>		

プログラム名称	高度情報ネットワーク実践スペシャリスト		
プログラム実施組織	情報科学研究科		
連携部局	—		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士
標準履修期間	2年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>高度副プログラム「高度情報ネットワーク実践スペシャリスト」は、大阪大学の大学院生に対して、情報ネットワークに関する高度で実践的な教育プログラムを提供するものです。本プログラムは、高度な情報ネットワークの基盤技術やサービス技術の教育を提供し、情報ネットワーク分野における実践的なソフトウェア開発等も可能なスペシャリスト養成を目的とします。本プログラムでは、以下のような先進的なネットワーク技術に関する教育を提供します。</p> <ul style="list-style-type: none"> - 超高速ネットワーク構成技術 - マルチメディアネットワーク技術 - モバイル通信プロトコル技術 - 情報流通プラットフォーム技術 - ネットワークソフトウェア技術 - ネットワークプログラミング技術 - ネットワーク分析技術 <p>なお、本プログラムは、本研究科が実施してきた大学院教育イニシアティブ「ソフトウェアデザイン工学教育プログラム」を発展させたプログラムのひとつでもあります。</p>		
受講資格・条件	なし		
修了要件	指定された授業科目より 8 単位以上を修得してください。また、「実践エンタープライズシステム開発」または「実践組込み開発」のいずれかを必ず修得してください。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>大学院情報科学研究科 情報ネットワーク学専攻 大崎 博之 准教授 Tel: 06-6879-4551, Fax: 06-6879-4554 E-mail: oosaki@ist.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	平成 21 年 4 月 3 日(金) 大学院情報科学研究科 専攻別ガイダンス なお、他専攻・他研究科の学生は、問い合わせ先に連絡してください。 個別に対応します。		
特記事項	なし		

プログラム名称	インターカルチュラル・コミュニケーションの理論と実践		
プログラム実施組織	留学生センター		
連携部局	言語文化研究科		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>グローバル化、ボーダレス化の進展に伴い、言語や文化を必ずしも共有しない人々間でのコミュニケーションの必要性が大いに高まっています。こうした「インターカルチュラル・コミュニケーション」は、多様な価値観や思考様式への気づきを促す契機となる一方で、様々な誤解や対立を引き起こす場合もあります。本プログラムでは、現代社会の多言語・多文化化の現状やインターカルチュラル・コミュニケーションに関する基礎理論を学ぶと同時に、実際のインターカルチュラル・コミュニケーション場面で生じる問題への対処方法について、実践的な課題を通じて考えます。これらの過程を通じて多様性への自覚を促し、地球市民としての知恵と態度を涵養することが本プログラムの目標です。</p> <p>なお、受講する科目を選択するにあたっては、KOAN に掲載されるシラバスを熟読してください。提供科目の中で、「音声言語コミュニケーション」、「書記言語コミュニケーション」に関心がある人は、それぞれ「言語コミュニケーション論 A・B」、「言語技術研究 A・B」、を受講することを勧めます。また、「言語政策」や「政治と社会」に関心を持つ人は、「言語文化教育論 A・B」、「言語文化政策論 A・B」を受講することを勧めます。</p>		
受講資格・条件	なし		
修了要件	対象科目を履修して8単位以上取得すること。		
ホームページ・問い合わせ先等	http://www.isc.osaka-u.ac.jp 学生交流推進課留学生センター係 (ryugakuseisenta@ns.jim.osaka-u.ac.jp, 内線 3127 または 06-6879-7118)		
説明会の日程	対象科目の最初(および2週目)の授業の際、各担当者が説明します。		
特記事項	どの授業においても、受講者同士のディスカッションを歓迎します。また、このプログラムは、基本的に、専門分野が異なる受講者がともに学ぶ場を提供します。受講者は自身の専門分野について、他の受講者に対し、可能な限り明確に、かつ平易に説明することが求められます。		

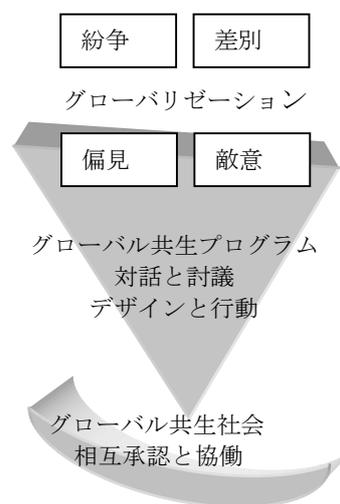
プログラム名称	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム： 専門科		
プログラム実施組織	臨床医工学融合研究教育センター		
連携部局	<ul style="list-style-type: none"> ・医学系研究科 ・歯学研究科 ・薬学研究科 ・工学研究科 ・基礎工学研究科 ・情報科学研究科 ・大学教育実践センター ・コミュニケーションデザイン・センター 		
修了要件単位数	9単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>高度先進医療福祉社会を築くことは、我が国の緊急課題です。そのためには、新規融合科学である「臨床医工学・情報科学融合領域」の社会に適合した発展が必須であり、決定的に不足しているこの領域の人材を育成することが急務です。</p> <p>本プログラムは、大学院博士課程学生を対象に、最先端の工学・情報科学と医学・医療の双方に精通し、社会ニーズ・医療ニーズ・患者ニーズを理解した医療技術者など、この領域の高度技術者を育成することを目的とします。具体的には、次の3つの専門コースと1群の共通科目、および入門科目を設定し、必要なカリキュラムを専門コースごとに構成します。</p> <p>(1) バイオメディカルインフォマティクスコース (2) バイオマテリアル学コース (3) 高度診断治療工学コース</p>		
受講資格・条件	なし		
修了要件	<p>①1つのコースの中から、講義科目8単位以上、および ②演習科目から1単位以上を修得すること。ただし、①については、8単位のうち4単位以上は所属研究科外(医学系研究科においては医科学専攻と保健学専攻は別研究科とみなします。)の講義科目とします。</p> <p>入門科および共通科の授業科目については、コース修了要件としてはそれぞれ2単位までを認定します。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>詳細はMEIセンターホームページをご覧ください。 http://www.mei.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	毎年4月中旬と9月下旬に履修説明会を行っています。日程が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。		
特記事項	なし		

プログラム名称	臨床医工学・情報学融合領域の人材育成教育プログラム： 高度職業人育成科		
プログラム実施組織	臨床医工学融合研究教育センター		
連携部局	<ul style="list-style-type: none"> ・経済学研究科 ・医学系研究科 ・薬学研究科 ・コミュニケーションデザイン・センター 		
修了要件単位数	(1)クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コース:10単位以上 (2)分子イメージング創薬プロフェッショナル育成コース:11単位以上 (3)予測社会医学プロフェッショナル育成コース:11単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>臨床医工学・情報学分野の職業のプロフェッショナル教育を目指し、次の3つのコースを構成します。</p> <p>(1) クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コース 「患者からはじまる医療」の確立を志向し、高い倫理観とコミュニケーション力、高度の専門的知識と技能、豊富な経験と実践力を兼ね備え、質の高い臨床研究を計画・遂行できる、良質な臨床研究専門家（臨床試験専門医、医学統計家、データマネージャー、臨床研究コーディネーターなど）の育成を目標とします。さらに、国際共同臨床試験への参画などを踏まえて、人材の国際性についても配慮し、これらの教育・指導にあたる担当者の育成を目標とします。</p> <p>(2) 分子イメージング創薬プロフェッショナル育成コース 医学、歯学、薬学、理学、工学、情報科学の学術的複合領域である分子イメージングの分野において、先端的知識を活用できる研究者、医師、歯科医師、薬剤師、医療技術者、企業研究者、治験計画立案者などを養成すると共に、プロフェッショナルな人材育成を目的とします。</p> <p>(3) 予測社会医学プロフェッショナル育成コース 医療環境を改善するために新しいシステムを適用しようとするとき、システム導入による影響をシミュレーションし、その結果をふまえてシステムを修正し、現場に応用します。さらにはシステム運用の結果として生じた影響を検証し問題点を克服するためのシステム修正を行います。このようなプロセスが、より良い医療システムの構築には必須です。このコースでは、公衆衛生学・実験経済学・基礎統計学を基本的に理解し、それらを融合した医療経済学を、実践的研究を通じて学ぶ場を提供します。</p>		
受講資格・条件	なし		
修了要件	<p>(1) クリニカルリサーチプロフェッショナル育成コース 基礎コア科目から6単位以上、専門コア科目から4単位以上修得すること。副科目は修了要件に含めないが、コースの内容に関連するので、必要に応じて履修すること。</p> <p>(2) 分子イメージング創薬プロフェッショナル育成コース 必修科目7単位、選択科目から4単位以上の11単位以上を修得すること。</p> <p>(3) 予測社会医学プロフェッショナル育成コース 必修科目7単位、選択科目から4単位以上の11単位以上を修得すること。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>詳細はMEIセンターホームページをご覧ください。 http://www.mei.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	毎年4月中旬と9月下旬に履修説明会を行っています。日程が決まり次第、ホームページ等でお知らせします。		
特記事項	なし		

プログラム名称	コミュニケーションデザイン		
プログラム実施組織	コミュニケーションデザイン・センター		
連携部局	文学研究科、人間科学研究科		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	2年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>本プログラムは、文系、理工系、医科学系の大学院生の混成による教育を基本とし、異なる専門性のあいだの相互理解、自らの専門性の特質の理解、社会とのコミュニケーションの必要性の理解の獲得を目指します。またプログラムを通じて、インタラクティブな講義や実習、各種ワークショップ形式を組み込み、座学による知識の習得とは異なる観点からの教育を行います。</p>		
受講資格・条件	なし		
修了要件	<p>本プログラム修了には、基礎科目・選択必修科目・発展科目の3段階で構成される8単位以上の取得が必要です。基礎科目は「メディア技法と表現リテラシー」(1・2学期開講、2単位)、選択必修科目は CSCD および連携部局が提供する科目の中から4単位以上を履修してください。基礎科目と選択必修科目の合計6単位以上を取得後の次学期から発展科目「領域横断・演劇創造ゼミナール」(1・2学期開講、2単位)を履修できます。</p> <p>本プログラムの修了に必要な単位と所属専攻の修了に必要な単位との重複が認められるかどうかは、研究科・部局によって異なります。履修希望者は、事前に指導教員や所属研究科の大学院担当窓口にも必ず相談してください。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>CSCD ホームページ: http://www.cscd.osaka-u.ac.jp/ 問い合わせ先: コミュニケーションデザイン・センター事務局 教務担当 Tel: 06-6850-6632 E-mail: cscd@ns.jim.osaka-u.ac.jp</p>		
説明会の日程	CSCD が提供する科目の第1回目の授業の際に、各担当教員が説明を行います。		
特記事項	なし		

プログラム名称	金融・保険		
プログラム実施組織	金融・保険教育研究センター(CSFI)		
連携部局	経済学研究科, 理学研究科, 基礎工学研究科, 情報科学研究科		
修了要件単位数	8科目以上(16単位相当以上) [下記の修了要件, 特記事項参照]	受講対象者	スタンダード・プログラム: 修士 及び 博士
			アドバンスト・プログラム: 博士
標準履修期間	スタンダード・プログラム: 2年	対象者制限の有無	無
	アドバンスト・プログラム: 3年		
プログラム概要及び教育目標	<p>大阪大学金融・保険教育研究センター(CSFI)は, 文部科学省特別教育研究経費(連携融合)に採択された“新領域分野「金融・保険科学」に関する文理融合型教育プログラムの開発”の実施母体として, 2006年4月に発足しました。</p> <p>極めて高度化・複雑化した金融・経済システムにおいて求められる, 金融・保険に関わる学際的分野でのスペシャリストを育成することを目標にし, 基礎工学研究科, 経済学研究科, 理学研究科, 情報科学研究科の4研究科を学内設立母体とし, 多くの民間および公的な金融機関を連携協力機関の支援のもと提供する文理融合型教育プログラムです。修士課程レベルに対応する[S]スタンダード・プログラムと博士課程レベルに対応する[A]アドバンスト・プログラムを持ち, さらにそれらは, それぞれ(M)数理計量ファイナンスコース, (E)金融経済・工学コース, (I)インシュアランス・コースの3つのコースに分かれ, 最先端の学術的発展をも踏まえた教育に加え, 実務家教員による実務教育にも力を入れています。</p> <p>また, CSFIにおける開講科目は大阪大学の大学院在学生在が受講できるほか, 金融・保険の知識・スキルの修得を目差す社会人向けに, 社会人再教育プログラム「科目等履修生」用カリキュラムとしても開放されています。</p>		
受講資格・条件	なし		
修了要件	上記の3つのコースごとに, 各科目を, 基礎科目, 専門科目, 特別科目に分類しており, 2種プログラムの修了要件はそれぞれ以下の通りです。各コースの科目の分類については, CSFIの教育プログラム便覧を御覧下さい:		
	スタンダード・プログラム: 必修科目をすべて含み, 基礎科目2科目以上, 専門科目4科目以上, 計8科目以上。		
	アドバンスト・プログラム: 特別科目6科目以上, 計8科目以上。		
ホームページ・問い合わせ先等	宛先: 大阪大学 金融・保険教育研究センター(CSFI) 所在地: 〒560-8531 大阪府豊中市待兼山町1-3 Phone: (06) 6850-6091 FAX: (06) 6850-6092 ホームページ: www-csfi.sigmath.es.osaka-u.ac.jp E-mail: csfi-questions@sigmath.es.osaka-u.ac.jp		
説明会の日程	平成21年度の説明会・オリエンテーションを 4月8日(水), 午後6時~, 豊中キャンパス法経講義棟1階第1講義室にて開催致します。		
特記事項	休講・補講, 集中講義の日程等の最新の情報につきましては, ホームページに御注意ください。 コース修了のためには, 本来の課程(専攻)の修了に必要な最低単位数以外に, 最低4単位は, 本副プログラムの単位として修得する必要があります。		

プログラム名称	グローバル共生		
プログラム実施組織	グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)		
連携部局	人間科学研究科、法学研究科、言語文化研究科、国際公共政策研究科、コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	10単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	1～2年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>グローバル共生社会とは、異なる文化、言語をもつ人々が相互に承認しあい共存することが可能になっている社会のことをさします。グローバル化が進めば、共生社会の到来は当たり前になるのでしょうか。民族や言語の違いによる紛争や差別が思い起こされるように、グローバル共生は自然に生まれるよりも、人々の努力を通して実現される必要があるようです。言語や文化が異なる集団が、どのようなプロセスを経て違いを認識し、それぞれの文化に対して対等に敬意をもって接することはできるのでしょうか。これまでの人類社会のさまざまな経験や教訓、それも良いことばかりではなく重く苦しいものも含めた事象から多角的に学ぶ必要がありそうです。</p> <p>グローバル共生プログラムは市民や何らかの専門的知性や技能をもった人たちが社会という現場で、さまざまな利害を超えて協働しグローバル共生社会のデザインを描くための理論と実践方法について学ぶプログラムです。参加型・対話型・現場でのトレーニング型(OJT)などの新しい教育手法を通して市民と専門家が対話や討議を通して協働することの重要性について、現場に出かけたり実習したりするなかで、身体を動かしながら学ぶことを主眼としています。高邁な理念や理想の学習だけでなく、現実の行動原理に結びつき、具体的な成果を生むための一歩を踏み出す学生への後押しが本プログラムの目的です。</p>		
受講資格・条件	資格や条件はありません。理系・文系を問わず、全学からの参加を歓迎します。これまで多文化共生についてあまり意識してこなかった人、グローバル共生という視点から自分の生き方をとらえなおそうと考えている人を歓迎します。「足もとの国際化」に興味をもち社会貢献をめざす学生、将来国際協力など現場で働くことを希望する学生にも向いたプログラムです。		
修了要件	本プログラムが指定する必修科目(6単位)と選択科目を合わせて10単位以上修得することとします。		
ホームページ・問い合わせ先等	グローバルコラボレーションセンター Tel. 06-6879-4442 Fax. 06-6879-4444 E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp ホームページ http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/		
説明会の日程	平成21年4月7日(豊中)10:00～基礎工学部国際棟 Σ(シグマ)ホール 平成21年4月8日(吹田)14:40～コンベンションセンター2F 会議室 (その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載いたします。)		
特記事項	なし		



プログラム名称	人間の安全保障・社会開発		
プログラム実施組織	グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)		
連携部局	人間科学研究科、経済学研究科、医学系研究科、工学研究科、国際公共政策研究科、大学教育実践センター、コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	1～2年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>現在、世界の多くの地域で、紛争や貧困などによって人々の生活が脅かされています。これらの問題の解決には、各国政府、国際機関、NGOsなどが国境を越えて積極的に活動を展開しています。本プログラムでは、紛争や貧困、そしてそれらに付随する様々な問題を読み解き、そして各々の専門知識を生かしながら、その解決に能動的に関わることのできる人材の育成を目的とします。そのためには、受講生各々の専門分野の知識に加え、人間の安全保障と開発という視点が有効です。本プログラムは、必修科目で、人間の安全保障と社会開発、そして、紛争と平和構築に関する重要な概念、イシュー、事例について概観し、さらに、受講生各々の興味に応じて選択科目を履修するように構成されています。選択科目には国際行政や国際協力に関するものから、環境や保健・衛生まで、理系・文系の枠にとらわれず、幅広く履修できるようになっています。さらに、国際協力の分野で必要ないくつかの地域言語や、フィールドワークのスキルや評価の手法も身につけることができます。</p> <p>日本人学生・留学生を問わず、将来、国際的な舞台で活躍することを希望している人に役立つよう、英語のみでも修了可能なプログラム構成です。</p>		
受講資格・条件	資格や条件はありません。理系・文系、日本人・留学生を問わず全学からの参加を歓迎します。特に、将来、「開発」や「国際協力」に何らかの形で携わることを希望する学生に向けたプログラムです。		
修了要件	本プログラムが指定する選択必修科目(2単位以上)と選択科目を合わせて8単位以上修得することとします。選択必修科目は最初に履修してください。		
ホームページ・問い合わせ先等	グローバルコラボレーションセンター Tel. 06-6879-4442 Fax. 06-6879-4444 E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp ホームページ http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/		
説明会の日程	平成 21 年 4 月 7 日(豊中)10:00～基礎工学部国際棟 Σ(シグマ)ホール 平成 21 年 4 月 8 日(吹田)14:40～コンベンションセンター2F 会議室 (その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載いたします。)		
特記事項	なし		

プログラム名称	司法通訳翻訳論		
プログラム実施組織	グローバルコラボレーションセンター(GLOCOL)		
連携部局	人間科学研究科、法学研究科、言語文化研究科		
修了要件単位数	10単位以上	受講対象者	修士 及び 博士
標準履修期間	1～2年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>21世紀の日本では、日本語を十分に解しないまま、外国人が刑事・民事・家事事件に関わる、あるいは出入国管理や難民認定での手続などに臨む事案が格段に増えています。</p> <p>司法通訳翻訳とは、上記のような法的場面における実務通訳や翻訳の総称です。具体的には、様々な司法ないしは行政機関や団体などが関与する業務において行われています。</p> <p>本プログラムは、そういった過程で必要不可欠な通訳翻訳について、特に、法律的手続、司法通訳翻訳人の役割や行動基準、コミュニケーションの3つに関する知識の習得や、スキルの向上の機会を提供し、また、司法通訳翻訳の在り方について考察する場を与えようとするものです。</p> <p>カリキュラムとしては、実務通訳翻訳の理論・訓練法・職業倫理論などに関する科目群(A)、司法領域の実務や手続に関する科目群(B)、そして特定言語組合せによる通訳翻訳実習の3つの科目群(C)の中から、各自の必要と関心に合わせて履修することができるようになっています。</p>		
受講資格・条件	<p>受講資格・条件は特にありません。日本語ともうひとつの言語両方の高度な運用能力があり、上記の領域での実務通訳翻訳に関心のある者を歓迎します。あるいは、法曹三者を目指したり、司法関係の機関で業務につく希望や可能性があったり、通訳を受ける当事者である外国人やその権利について関心のある者などの受講も想定しています。博士前期課程か後期課程かは問いません。</p>		
修了要件	<p>本プログラムで指定された科目群A, B, Cのうち、科目群 A に入る「多文化共生社会論特講Ⅱ」(必修 2単位)及び「多文化共生社会論特定演習Ⅱ」(必修 2単位)を含む、最低 10 単位を履修する必要があります。いくつかの科目については、履修に制限があります。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>グローバルコラボレーションセンター Tel. 06-6879-4442 Fax. 06-6879-4444 E-mail: ghjm@glocol.osaka-u.ac.jp ホームページ http://www.glocol.osaka-u.ac.jp/</p>		
説明会の日程	<p>平成 21 年 4 月 7 日(豊中)10:00～基礎工学部国際棟 Σ(シグマ)ホール 平成 21 年 4 月 8 日(吹田)14:40～コンベンションセンター2F 会議室 (その他の説明会は、日程が決まり次第ウェブサイトに掲載いたします。)</p>		
特記事項	なし		

プログラム名称	サステナビリティ学		
プログラム実施組織	サステナビリティ・サイエンス研究機構(RISS) サステナビリティ・デザイン・センター(SDC)		
連携部局	人間科学研究科、法学研究科、経済学研究科、理学研究科、医学系研究科、工学研究科、基礎工学研究科、国際公共政策研究科、コミュニケーションデザイン・センター		
修了要件単位数	8単位以上	受講対象者	修士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	無
プログラム概要及び教育目標	<p>大阪大学RISS/SDCでは地球社会を持続可能なものへと導くビジョンの構築と、その基礎となる新しい学術「サステナビリティ学」を創成することを目指し、サステナビリティに関連する多様な学術領域を統合する研究を目指すとともに、サステイナブルな社会の構築をめざして様々な分野で活躍できる専門家の育成を目指してサステナビリティ学教育プログラムを設立しました。当プログラムは、RISS・SDCの兼任教員を中心とした教授陣による科目群で構成されており、サステイナビリティに関連する様々な学問領域の俯瞰的・構造的な理解をコアとした構成となっています。また必修科目の中では、エクスカージョンやディスカッションの機会を設け、理論のみではなく実践力を身につけさせる構成としています。当プログラムを通じて、大阪大学の学生がサステイナビリティ学の俯瞰的見識を身に付けたそれぞれの専門家として、広く社会で活躍することを期待しています。</p>		
受講資格・条件	<p>全学からの学生の参加を歓迎しますが、サステイナビリティ学を学ぶ意欲が重要となります。また、一部の科目・授業は英語で行われます。カリキュラム科目群に関しては、内容や講師の変更等で年度によっては変更があります。原則、過去のプログラムは修了要件に含まれることとなりますが、不明な点がありましたら、プログラム事務局までご連絡下さい。</p>		
修了要件	<p>1. サステイナビリティ学科目群(先導2科目、学域2科目、アソシエイト21科目)の中から4科目8単位を履修します。 2. 先導科目2科目、学域2科目のうち2科目を選択必修とします。ただし選択必修には先導科目を最低1科目含むこととします。</p>		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>サステイナビリティ・サイエンス研究機構 担当: 上須 道德 (うわす みちのり) 〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1 先端科学イノベーションセンター 先導的研究棟4F Tel 06-6879-4140 Fax 06-6875-6271 E-mail: edu@riss.osaka-u.ac.jp URL: http://www.riss.osaka-u.ac.jp/jp/activities/education.html</p>		
説明会の日程	<p>平成 21 年 4 月 7 日(火)10:00～(豊中)基礎工学部国際棟 Σ(シグマ)ホール 平成 21 年 4 月 8 日(水)14:40～(吹田)コンベンションセンター2F会議室</p>		
特記事項	なし		

プログラム名称	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士前期課程高度学際教育)【略称:ナノ高度学際教育研究訓練(前期課程)】		
プログラム実施組織	ナノサイエンスデザイン教育研究センター		
連携部局	理学研究科、医学系研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、生命機能研究科、産業科学研究所、接合科学研究所、超高压電子顕微鏡センター、極限量子科学研究センター、太陽エネルギー化学研究センター		
修了要件単位数	9単位以上	受講対象者	修士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>大阪大学大学院の各部局で従来個別に実施してきた学際性の極めて強いナノサイエンス・ナノテクノロジーに関連する大学院講義を部局横断型に再編統合し、複数の高度学際教育プログラムを編成してあります。これらの高度学際教育プログラムの履修により、従来の専門領域に加えてナノサイエンス・ナノテクノロジーの体系化された幅広い知識を修得させ、よって有能なナノ関連分野の基礎研究開発能力を持つ人材の育成を目的とします。</p> <p>カリキュラム構成は、ナノサイエンス・ナノテクノロジーに関わる学生が広く聴講すべき講義群を、基盤講義(基盤講義群)、個々の分野の専門性が強い講義(専門講義群)、及び、研究者として巣立つための講義群(アドバンス講義群)に分類して、これに社会におけるナノテクノロジーの活用実例や社会受容における課題を講義するナノテクキャリアアップ特論(必修科目、吹田・豊中遠隔中継)を加えて、全学の学生に対して履修を推奨します。このプログラムでは講義のみならず、主に夏期集中で部局横断的な演習、実験を含めた高度実習訓練(約30課題)を行うことを特徴としています。</p> <p>大学院博士前期課程向けの高度学際教育プログラムとして、以下の5つのプログラムを平成21年度に実施します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ナノマテリアル・ナノデバイスデザイン学 ② ナノエレクトロニクス・ナノ材料学 ③ 超分子ナノバイオプロセス学 ④ ナノ構造・機能計測解析学 ⑤ ナノフォトニクス学 		
受講資格・条件	なし		
修了要件	本プログラム修了認定には、1つのプログラムの中から講義科目8単位(うち所属の専攻または領域の授業科目にない講義科目4単位以上を含む)、および集中実習科目1単位以上を修得することが必要です。ただし、修得した単位(「ナノテクキャリアアップ特論」、「集中実習科目」を含む)のうち最低4単位は、所属研究科の修了に直接関わらない単位として修得する必要があります。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>本プログラムの全般についての問い合わせは、ナノプログラム事務局へ行って下さい。電子メールの際には、必ず所属研究科・専攻・研究室名、履修プログラム名を記載して下さい。</p> <p>ナノプログラム事務局:豊中地区 基礎工学研究科G棟1階104号室(G104) メールアドレス:nano-program@nano.sigma.es.osaka-u.ac.jp TEL:06-6850-6398 ホームページ:http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/ 内線(6398)</p>		
説明会の日程	日程が決まり次第、ナノプログラムホームページに掲載します。		
特記事項	2年度にまたがる履修を認めます。		

プログラム名称	ナノサイエンス・ナノテクノロジー高度学際教育研究訓練プログラム (博士後期課程社会人特別選抜) 【略称:ナノ高度学際教育研究訓練(後期課程社会人)】		
プログラム実施組織	ナノサイエンスデザイン教育研究センター		
連携部局	理学研究科、医学系研究科、薬学研究科、工学研究科、基礎工学研究科、生命機能研究科、産業科学研究所、接合科学研究所、超高圧電子顕微鏡センター、極限量子科学研究センター、太陽エネルギー化学研究センター		
修了要件単位数	9単位以上	受講対象者	博士
標準履修期間	1年	対象者制限の有無	有
プログラム概要及び教育目標	<p>博士課程におけるプログラムでは、将来の研究リーダーとして、ナノ関連の複数分野の最新科学技術を選択的に導入し統合する能力と見識の涵養、技術の社会受容の重要性を十分に認識した研究の立案や推進などの研究統括能力の育成を目指しています。そこで、ナノサイエンス・ナノテクノロジー関係に現在従事しているか、将来従事したいと考えている社会人特別選抜学生が、主専攻以外に付加価値としてナノテクの深化や多様化について副専攻的に受講することは、上記の視点で大いに役立つものと考えられます。また、社会人DCの場合、遠隔地勤務ではスクーリングによる講義受講・討論等は難しく、遠隔講義システムによるサテライト教室での受講は本人の負担を軽減することにも繋がります。</p> <p>そこで、本プログラムでは、現在社会人教育向けに平日夜間に開講されている講義群を社会人特別選抜学生にも開放し、下記4コースの中から1つのコースを選んで遠隔受講を許可し、合わせて、大学院前期課程向けナノテクキャリアアップ特論(PCによる録画受信)も聴講可とする副プログラムを開講します。</p> <p>① ナノマテリアル・ナノデバイスデザイン学 ② ナノエレクトロニクス・ナノ材料学 ③ 超分子ナノバイオ・フォトニクス学 ④ ナノ構造・機能計測解析学</p>		
受講資格・条件	博士後期課程に在学する社会人特別選抜学生を対象とし、職場の関係で来学が困難な者が遠隔講義システムを利用してサテライト教室にてライブ受講することが条件です。		
修了要件	本プログラムの修了認定には、以下のプログラム群から1つのプログラムを選び、スクーリング集中実習を含めて9単位以上を修得することが必要です。ただし、集中実習は、ナノテクキャリアアップ特論に代えることができます。なお、修得した単位のうち最低4単位は、所属研究科の修了に直接関わらない単位として修得する必要があります。		
ホームページ・問い合わせ先等	<p>本プログラムの全般についての問い合わせは、ナノプログラム事務局へ行って下さい。電子メールの際には、必ず所属研究科・専攻・研究室名、履修プログラム名を記載して下さい。</p> <p>ナノプログラム事務局:豊中地区 基礎工学研究科G棟1階104号室(G104) メールアドレス:nano-program@nano.sigma.es.osaka-u.ac.jp TEL:06-6850-6398 ホームページ:http://www.sigma.es.osaka-u.ac.jp/pub/nano/ 内線(6398)</p>		
説明会の日程	4月3日より開講のため、事前説明会は開催しませんので、随時ナノプログラム事務局へ問い合わせして下さい。講義内容等は、ナノプログラムのホームページ上に掲載されている社会人教育の項を参照して下さい。		
特記事項	2年度にまたがる履修も認めます。		

各プログラムの詳細については「プログラム紹介」の各プログラムの問い合わせ先にご照会下さい。

発行者：大阪大学学生部（担当：学務課学務係）
〒565-0871 吹田市山田丘 1-1 tel：06-6879-7107



OSAKA UNIVERSITY



この用紙は人類環境浄化のため
再生紙を使用しています。

001003